



門真四中だより

「つながる」「わかる」「切り拓く」

令和5(2023)年6月9日

第18号

編集・発行：校長 上甲 尚

充実した修学旅行にしよう!



3年生は来週の火曜日(13日)から長野県・白馬方面へ修学旅行に行きます。3年生の皆さんは、小学6年生の時、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で修学旅行(広島方面)に行くことができなかったと聞いています。だから、今回はよけいに楽しみにしている

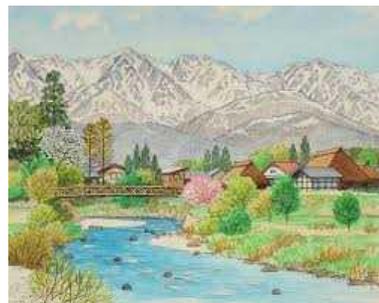
ことと思います。天気が気になりますが、何とか3日間もってほしいですね。信州の豊かな大自然に触れ、様々な体験活動を通して、またひと回り成長できることでしょう。

今回の修学旅行の目的は、以下の通りです。

- ①大阪とは違った自然や文化に触れる。
- ②学年、クラス、班等での集団行動を通して、協力することの意義を確かめ、共通の思い出をつくる。
- ③デジタルデトックス(3日間スマホ使用を断ち切り、自然や仲間・現地の人びととの触れ合いを五感で楽しむ)

1泊目は「民泊」で、現地の方にお世話になります。各家庭毎に様々な体験をさせてもらい、いろんなお話を聞かせてもらえたいと思います。楽しみにしててください。2日目は選択プログラム、ナイトレク、星空観察を楽しみ、ホテルに宿泊します。3日目はラフティングを体験します。いずれも大阪(門真)では体験できないことばかりです。修学旅行ならではの醍醐味です。大いに楽しみましょう。

言うまでもないことですが、修学旅行はあくまでも学校行事であり、大人数での団体行動ですから、必ずルール・マナーを守って行動するようにして下さい。家族旅行ではありません。自分勝手な行動をして、周りの人に嫌な思いをさせたり、迷惑をかけるようにしましょう。先生方はもちろん、係りの生徒たちをはじめ、いろんな人が楽しい修学旅行になるように陰で一生懸命、準備してくれていることも胸にとめて行動してください。先生たち



ちにとっては、君たちの大切な『命』を預かり、3日間無事に事故もケガもなく、門真に戻ってくるのが最大のミッションなのです。そこをしっかりと理解して、行動してくださいね。皆さんにとって最高の思い出ができることを期待しています。修学旅行でクラスメイトとより信頼関係が深まり、さらに仲良くなればいいですね。さあ、行くぞ、信州へ!

研究授業(第2回)を行いました

昨日の6時間目、今年度第2回目の研究授業を行いました。今回は各学年毎に、3名の先生が授業を行い、学年の先生方が参観しました。門真市教育委員会の方、脇田小の先生も参観にいられました。

1年生は向井先生が3組で数学の授業を行い、四則計算の正しい解法(解く順序など)を学びました。2年生は吉國先生が3組で社会の授業を行い、南西諸島の自然や産業、人びとの生活について学びました。途中、三線の生演奏もありました。3年生は上木先生が3組で英語の授業を行い、主に現在完了進行形について学びました。みんな一生懸命勉強していましたね。授業終了後、それぞれ研究討議を行い、授業の振り返り、意見交換を行いました。協力してくれた各クラスの皆さん、ありがとうございました。

今後もより良い授業をめざして、研究していきたいと思えます。次回は2学期に研究授業を行います。これからも授業を大切に、コツコツ学んでいきましょう。



向井先生(数学科)



吉國先生(社会科)



上木先生(英語科)

元気よくあいさつしよう!



毎朝8時過ぎから20分ほど校門に立ち、登校してくる皆さんに「おはよう!」と声をかけ、あいさつをしています。「おはようございます!」と元気よくあいさつしてくれる人が多いですが、声がすごく小さかったり、中にはまったくあいさつしてくれない(無視する)人もいます。ちょっと(いやかなり?)悲しいです。

「あいさつ」は、「心のキャッチボール」です。あいさつを交わすと、お互いに気持ち良く一日を過ごすことができるし、「感じのいい人やなあ」と相手に対する印象も良くなります。お互いに笑顔になれるし、あいさつからコミュニケーションも始まり、学校も活性化します。いいことだらけです。逆に、あいさつをしているのに無言で過ぎ去る人は印象が悪くなってしまいますよ。

「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」たった一言のあいさつ、1秒の言葉ですが、とても大切なことです。四中を元気のいいあいさつの声が響く、笑顔あふれる学校にしていきたいでしょう!

人を気持ちよくさせる方法ってたくさんあるけど、挨拶ってその中のひとつだよな
(ビートたけし)